まごころ総会後の交流会

和気あいあい

ミニデイ利用の皆さんの発表会に大きな反響

◇新聞を見て来られた脳梗塞後遺症のある方から
「希望が持てた。自分はもう何も出来ないと思っていたが、皆さんをみて、出来るんだと分かった」
◇また、あるデイサービス事業所の若い職員さんは
「感動しました。こんなことが出来るんですね」と言葉を残して下さった。

「ミニデイサービスまごころ」に参加の皆さんに「まごころ」の総会に花を添えていただこうと日頃のリズムでリハビリ披露していただきたいと、お願いをしました。快く承諾下さっての開催。

歌あり、踊りあり、ダンスあり、ピアノの独奏、楽器演奏あり、朗読あり盛りだくさんなプログラム。

会場のみなさんは感激して下さったようです。

あぶなかっしい足取り、でも「杖は要らない」と舞台中央へ進まれる。震える手、車椅子の方、障害のある方、後遺症が残る方、一人暮らしの方病気の方、最長老は九十歳。皆ひとりひとり真剣勝負。

不安な方には後ろから支え、仲間が後ろで唄う。

ここ数日落ち着かなかったとおっしゃる方。

ピアノを弾かれる反対の手が震えている、握り締めて応援する。大丈夫と声をかける。この日の為に、歩けるようリハビリをされた方、お風呂に入りながら練習され方等、みんなこの舞台のために一生懸命だったようだ。総勢15人の利用者さんが、20の演目をそれぞれの人生が感じられるような味わいで見事に披露された。利用会員さんの満足そうな顔が光って見えた。

ご参加ください

小規模介護講座開催

第１回は貴船連区で行います

「もし、家族が、
　あなたが倒れたらどうしますか？」
脳梗塞などで倒れることは突然やってきます。
どんな対応をすればいいのか。
どういうことが分かっていればいいのか。
回復へのリハビリはどこまでできるのか。
在宅療養になったらどんな対応が必要なのか。
などを勉強します。

日　時・平成13年６月22日（金）
　　午前９時40分～11時40分
　　午後12時40分～２時40分
場　所・一宮市貴船公民館
内　容・午前「脳梗塞で倒れたらどうする」
　　午後　簡単な介護技術
講　師・午前　愛知江南短期大学　伊藤和子先生
　　午後　まごころ
主　催・特定非営利活動法人
　　尾張地域福祉を考える会まごころ
申　込・まごころ事務所　0586-73-8707

皆さんのご参加をお待ちしています

ある外科医の独り言

いのしし　　髙　勝義

あるテレビの番組でイノシシによる農作物の被害を報じていた。日本は至る所で開発がなされ、イノシシのような野生動物は住処を失ってどんどん減少しているものと思っていた。

あにはからんや、イノシシは増えていたのである。そして人間の作る農作物を食い荒らしていたのである。農作物を食い荒らされた農家の人にはお気の毒にと思うのであるが、野生のイノシシが増えて元気に生き延びていることを知って、何故かホッとした気分になった。

報道によれば政府の減反政策により、山間の農家とその耕地が放棄され、荒れ放題になった所にイノシシが住み着いて繁殖したせいのようである。人間が開発した後で放棄した場所には、イノシシが好む植物が繁殖してイノシシの食料原となり、農家はイノシシの絶好の離れ家になっているらしい。イノシシの内蔵は人間の構造とよく似ており、そのせいか人間の食べる食べ物はイノシシも好んで食べるようである。おまけに、イノシシはまことに賢く臆病であるらしい。ゆえに子孫が増えれば食べ物を求めて人間の農作物をちょっと失敬するのは当然のことであろう。

地球は一体誰のものであろうか？人間だけの物であるはずがない。人も、植物も、動物もそれぞれ領分をわきまえ助け合いながら生活していく場所であるはずである。限りなく増産し、余った物は迷いもなく捨てる消費社会でなく、今必要としている物を必要なだけ生産し、大切にリサイクルしながら使い続ける事の大切さに、人々は近頃気付き始めたようである。

人と動物、お互いに領分をわきまえあいながら共生の道を探らねばならないようである。　　（山下病院　院長）

賛助会員の皆様へ

賛助会員の皆様には、これまで八年間、会の困窮財政への基盤確保に多大なご尽力をいただいて参りました。お陰様で、会は今日まで活動が継続してまいりました。

心から厚く御礼申し上げます。

ご承知のように、会はＮＰＯ法人を取得、介護保険事業にも参画をし、助け合い活動と車の両輪で活動を行うことになり一年が経過しました。

介護保険事業を行うことで、助け合いの活動にも経済的補填をすることが出来ました。

わずか四十件足らずの介護保険事業では企業ならつぶれるところですが、「まごころ」では有償の活動と同じ土俵で考えていますので何とかぎりぎりで出来ると思われます。

つきましては、年会費のご負担を軽くさせていただくことで、これまでの感謝の気持ちをほんの少しお返しをさせていただきたいと考え、次のように、先の総会で変更させていただきました。

賛助会員年会費　二千円

会では、これまでの助け合いの活動を一層充実させ、発足時の原点を忘れる事なく活動を行って参りたいと考えます。引き続き会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

映画「老親」上映会

～～介護する人・される人が
　その人らしく生きるために
　何が大切なのかみんなで考えます～～

主演・萬田久子、小林桂樹
原作・門野晴子（NHK朝の連続ドラマ「天うらら」原作者）
日時・平成13年５月27日（日）
　１回目上映（10時30分～）
　２回目　〃　（13時30分～）
場所・瀬戸市市民会館大ホール
入場前売り券・大人1,500円
　　高校生以下1,000円
主催・特定非営利活動法人
　瀬戸地域福祉を考える会まごころ
申込・瀬戸まごころ　☎0561-85-3080

3月有償活動	
在宅活動件数	28件
〃　活動人数	20人
〃　活動時間	322時間
ミニデイサービス利用者	53人
移送サービス利用件数	88件

3月会員登録状況	
協力会員	43人
利用会員	67人
賛助会員	126人
計	239人

3月介護保険訪問活動	
訪問件数	44件
家　事	472 時間
複合型	247 時間
身　体	278 時間
合　計	997 時間

6月の定例会は

6月3日（日）事務所　９時30分～12時30分
◆定　例　会　　９時30分～10時30分
◆ケア検討会　　10時30分～12時30分

5月の予定

3日（木）ミニデイサービス（場所・事務所）
6日（日）総会・交流会　（場所・スポ文）
　会報「まごころ」」発行
7日（月）コーディネイター会議
　－宮嶽ボランティア　岩本、小島
9日（水）ミニデイ委員会
10日（木）ミニデイサービス（場所・保育園）
　－宮嶽ボランティア　古田、石原
　運営委員会
11日（金）講座会議
14日（月）コーディネイター会議
　－宮嶽ボランティア　平子、鈴木
17日（木）ミニデイサービス（場所・事務所）
　－宮嶽ボランティア　大橋、橋
19日（土）ミニデイサービス（場所・事務所）
21日（月）コーディネイター会議
　－宮嶽ボランティア　谷、小木曽
23日（水）ミニデイ委員会
24日（木）ミニデイサービス（場所・保育園）
　－宮嶽ボランティア　倉知、牧野
28日（月）－宮嶽ボランティア　岩田、川合
31日（木）ミニデイサービス、ミニデイ定例会（場所・事務所）
　理事会
　－宮嶽ボランティア　塚本、岩田